

**牛根でしかできないこと、
牛根だからできることを
みんなで考えよう**



牛根づくり計画

平成29年11月
牛根地区公民館

見直し版

牛根でしかできないこと、牛根だからできることを
みんなで考えよう
～牛根づくり計画（見直し版）～

もくじ

1	牛根づくり計画（見直し版）について	P 1
2	牛根はこうありたい（行動計画）	P 2
3	参考資料	
(1)	こんなことをやってきた（牛根づくりの歩み）	P13
(2)	牛根づくり計画見直し委員会名簿	P15
(3)	策定経過	P16
	あとがき	P17

1 牛根づくり計画（見直し版）について

牛根づくり計画（計画期間：H24～H33年度）は、平成24年度に策定した「初版」の考え方に沿って、これからの中後期のために、平成29年度にわたしたちが考え、意見を出し合って、行動計画の見直しを行いました。

わたしたちは、これまで計画に基づいて地域づくりに取り組んできましたが、新しいことへの挑戦や既存計画の充実を図る必要がありました。

今回の行動計画の見直しによって、行政や関係機関と協働し、力を合わせ、住みよい牛根を目指して牛根づくりを進めていきます。

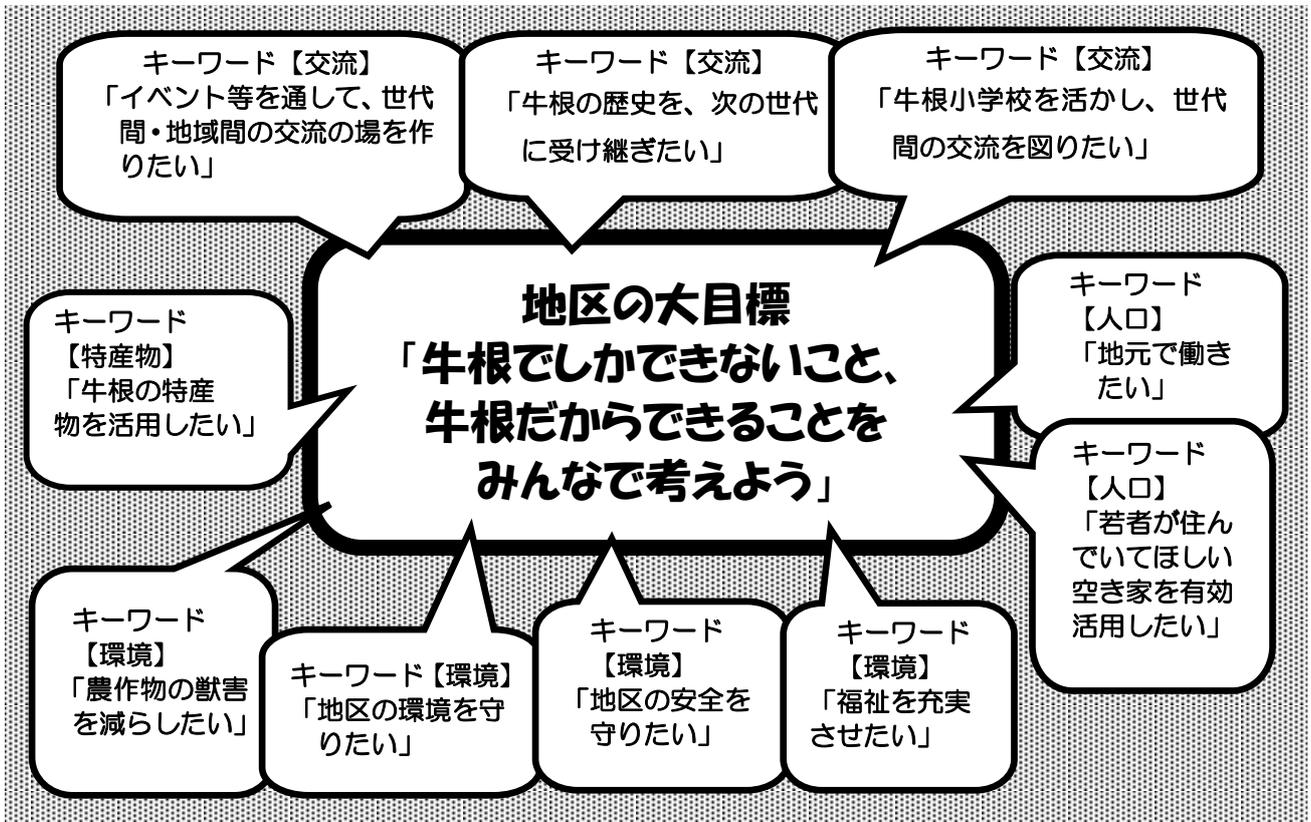


▲ H24年度牛根づくり計画（初版）
策定委員会



▲ H29年度牛根づくり計画（見直し版）
策定委員会

2 牛根はこうありたい（行動計画）



2 牛根はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	だれが	
		地域・団体名・市・県・国	
交流	<p>イベント等を通して、世代間・地域間の交流の場を作りたい</p>  <p>▲ 二月祭り</p>  <p>▲ 学習発表会</p>	牛根地区公民館	
	市	土木課	

いつ、何をする		市役所関係課の見解
中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○行事の連絡等が行きわたるよう、公民館組織の体制、連絡体制を改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門部会を中心とするイベントの推進等、公民館組織を活用する 		<p>※1 現在は、主に浮津港内の道路除草を年1回ではありますが、実施しております。今後は公園を含めまして実施できるよう努めてまいります、少しでも地域からのご協力を頂けたらと思います。</p>
<p>○委員以外にも声をかけ、関わる人を増やす。</p>		
<p>○地域の味を持ち寄ってお茶会を開き、皆が集まれる場所を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンの活動を充実させ、加入者が増えるよう取り組む ・子どもから高齢者まで憩える場所の整備 		
<p>○中学校運動場を使って他地区と交流を図る等、イベント会場として活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りや花見等 		
<p>○現在行っているイベントを充実させ、新しいイベントを始める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動と組み合わせたイベントにする等、多くの住民が参加できるよう工夫する。 <p><現在行っているイベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・岳野グラウンドゴルフ大会 ・なごみの輪グラウンドゴルフ大会 ・ふれあいもちつき大会 ・昔遊び ・二月祭り ・愛校作業 ・六月灯 <p><新しいイベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会い、体験イベント(牛根自慢) ・野菜・果物等収穫体験 ・海辺での魚釣り体験 ・収穫した食材を使った試食会 ・バーベキュー ・食育(郷土料理等) ・親子料理教室 		
<p>○浮津港の公園の草払いについて、定期的を実施いたします。※1</p>		

2 牛根はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	だれが	
		地域・団体名・市・県・国	
交流	牛根の歴史を、次の世代に受け継ぎたい	牛根地区公民館	
		市	社会教育課
	牛根小学校を活かし、世代間の交流を図りたい	牛根小学校	
特産物	牛根の特産物を活用したい	牛根地区公民館	
	 <p>▲ 牛根小学校びわ収穫体験</p>	市	農林課 企画政策課

いつ、何をやる		市役所関係課の見解
中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○牛根の歴史を調べて人材(語り部等)を育成する。 ・歴史書を元にした勉強会を開く</p>		<p>※2 資料提供や講師派遣等、具体的なお相談内容に応じて支援を行ってまいります。</p>
<p>○DVD「牛根棒踊り」を活用する。</p>		
<p>○牛根の歴史に関する資料の提供について、今後も支援してまいります。※2</p>		
<p>○牛根小学校教育の充実(特色ある学校・行かせたい学校)。 ・牛根小運動会や学習発表会等、学校行事に地区住民も参加する</p>		
<p>○地域の素材や人材を活かした教育に今後も協力する。</p>		
<p>○空き家、給食センター、地区公民館、自治公民館等を利用してピワをはじめとする牛根地区の食材を活かした生産・加工・販売を検討する。</p>		<p>※3 大野地区では「つらさげ芋」の焼き芋をはじめとした大野野菜を広くPRし、ブランド確立に努めておられます。水之上地区公民館、森の駅たるみず内の各加工室については利用可能ですので、農林課へ予約申請してください。販売許可など県を通じた手続きも必要となる場合がありますので、商品の種類や売り先など、どのような思いを持っておられるのか整理し、ご相談ください。</p> <p>※4 行動計画に基づいた事業を展開する中で、「加工品はどのようなものを作りたいか」「どの程度の加工施設・販売所が必要なのか」「施設はどこを使いたいか・どこを使えるのか」といったことを皆さんと一緒に話し合った上で、国や県などの関係機関や市の関係課と協議をして前向きな形で検討に入りたいと思います。</p>
<p>○手入れできなくなったピワ園を借り受けて、収穫体験等を行う。 ・ピワ農家の協力をもらいながらピワの生産を行う</p>		
<p>○牛根小学校等と協力しながら、子どもたちへピワの収穫体験等を行い、牛根の特産物を身近に感じてもらう。</p>		
<p>○ピワ等、牛根地区の食材を活かしたスイーツ作りをする。</p>		
<p>○ピワの直売所を作る。</p>		
<p>○特産物の生産・加工・販売について、情報提供を行います。※3</p>		
<p>○特産物に関する取り組みについて、協力いたします。※4</p>		

2 牛根はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	だれが	
		地域・団体名・市・県・国	
人口	<p>地元で働きたい</p>	牛根地区公民館 地域	
		市	水産商工観光課
人口	<p>若者が住んでいてほしい 空き家を有効活用したい</p>  <p>▲ 牛根小学校運動会</p>	牛根地区公民館 地域	
		市	市民課 企画政策課
環境	農作物の獣害を減らしたい	牛根地区公民館 各振興会 老人クラブ	
		市	農林課 農林課

いつ、何をやる		市役所関係課の見解
中期(4~6年目)	後期(7~10年目)	
○牛根地区にある企業に、地域の方の優先的な雇用を依頼し、雇用の情報提供をしてもらう。		※5 優先的な地元採用の依頼については、雇用へ対する介入は直接的には難しい面があると思われます。雇用については、「ハローワーク」を経由して募集を行っているのが現状かと思えます。定期的にハローワークから求人情報がまいりますので、市のホームページで掲載できないか検討いたします。
○雇用の情報提供をいたします。※5		
○若い人が住めるよう市へ空き家の情報提供を行う。 ・移住希望者がいれば、空き家の改修を検討する		※6 空き家の調査協力については、市が保有する課税情報等を基にした所有者情報が考えられますが、内部利用に限られているため、市から所有者や管理人等に連絡を取り了解が得られれば情報提供は可能と考えます。しかし、法定相続人の調査が必要な場合は、かなりの労力と期間がかかり、得られた情報も直接は提供できないため、個別に相談しながら対応したいと考えます。 ※7 空き家バンク制度は、市の重点施策にもあるように定住人口増対策の一環として力を入れている制度です。ご登録していただいた空き家の情報は、垂水市のホームページで公開し、借り主(買い手)と貸し主(売り手)との橋渡しを行っております。また、バンク登録の促進として、家財道具撤去費用の一部補助、リフォーム費用の一部補助、バンク登録された空き家を借りる際の家賃補助等、様々な制度があります。今後も、地域からご要望の強い空き家の有効活用について、地域と行政が協働して課題の解決を図りたいと考えておりますので、積極的にご協力いたします。
○地区内の空き家を把握し、有効活用する。		
○市の協力をもらいながら、使える空き家の調査を行う。		
○地域内の空き家の調査及び活用について、直接個人情報の提供はできませんが、市の方で対応可能なことはありますのでご相談ください。※6		
○地域内の空き家の調査及び活用について、資料提供等の協力をします。※7		
○農産物の被害を減らす取り組みについて検討する。		※8 獣害対策につきましては、野生鳥獣の個体数減少を図るための駆除捕獲対策、ワイヤーメッシュ柵や電気柵等の設置による耕作地等への進入防止対策の両方を実施していくことが重要であり、農家の方々にご理解していただくことが大切であると考えておりますので、課内はもとより捕獲隊の方々とも情報の共有に努め、被害の減少に取り組んでまいります。
○獣害対策についてスムーズな協議につながるよう、担当課・担当者間での情報共有に努めます。※8		
○獣害防止のための資材購入に対して支援いたします。※9		
		※9 「垂水市有害鳥獣防止施設等資材購入費補助金(市単独)」で支援させていただいており、補助金額については以下のとおりです。 単一農家：3万円 認定農家：5万円 集落単位：10万円 ※詳細につきましては、農林課振興係でご説明いたしますので、ご相談ください。

2 牛根はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	だれが		
		地域・団体名・市・県・国		
環境	<p>地区の環境を守りたい</p>  <p>▲ 岳野草払い活動</p>	<p>牛根地区公民館 各振興会 老人クラブ</p>	市	土木課
		農林課		
	財政課			
	<p>地区の安全を守りたい</p>  <p>▲ 防災訓練</p>	<p>牛根地区公民館 各振興会</p>	市	総務課

いつ、何をやる		市役所関係課の見解
中期(4~6年目)	後期(7~10年目)	
○四季折々の花を植える。 ・鉄道跡地にアジサイロードを作る ・植栽箇所の草払い等を行う		<p>※10 これまで地域沿線の方々のご協力をいただき市道の除草作業を実施してまいりましたが、地域沿線の方々も高齢者が多くなり、作業に支障をきたしている状況は十分理解しております。そこで、行政で十分な対応が出来るようであれば好ましいことですが、予算諸々考慮した場合、やはり地域民の方々のご協力は必要不可欠であり、環境維持のため、より効率的な対応が出来るように行政としても今まで以上に努力いたします。</p> <p>※11 これまで地域沿線の方々のご協力もいただきながら農道の除草作業を実施してまいりましたが、地域の皆様方も高齢の方が多くなり、作業に支障をきたしている状況は十分理解しております。予算等も諸々考慮した場合もこれまで同様地域住民の方々のご協力は必要不可欠と痛感しておりますことから、今後も環境維持のため除草の時期等を含め、より効率的な対応が出来るように連携させていただきたいと考えております。</p> <p>※12 中学校跡地の活用については、市としての方針が決まっていないことから財政課で景観や周辺地域への影響を考慮し、草刈等の維持管理のみを行っているところです。その中、地域住民の方々からグラウンド利用の申請があり、現在「自分たちで整備・管理を行う」ことを条件に「無償」で貸与しております。今後も市としての方針が決まるまでは、維持管理のみの経費しかかけない予定であることから、草刈等の委託をシルバー人材センターに年2~3回行うこととしています。</p> <p>※13 避難所としての指定条件や牛根地区公民館の収容人員に余裕があることなどから新規の避難所指定の予定はありません。高齢化が進む中で、牛根地区公民館の快適な避難所としての環境整備について検討してまいります。自主防災組織(振興会)の活動として、自治公民館を活用することは可能ですので、具体的な話がまとまれば、総務課安心安全係までご相談ください。また、状況が急変した場合等に移動手段がない高齢者等について、移送が必要な場合は市役所までご連絡いただければ、市役所公用車にて対応いたします。災害時は、自助・共助が最も重要となっておりますので、出水期前の点検、訓練等を継続して開催していただきますよう、また、地域の手助けが必要な高齢者等の見守りについても、情報共有等よろしく願いいたします。</p>
○危険箇所や中学校跡地の草払いについて、声かけ・協力依頼を定期的に行う。 ・月1回程度の清掃活動 ・集落単位での環境整備・美化活動 ・シルバー人材センター等の活用を検討する		
○岳野の自然を維持し、活用する方法を考える。		
○校区内にある店がさらに活用されるよう取り組む。		
○鉄道跡地や中学校の草払いについて、地元と協議しながら支援してまいります。※10		
○鉄道跡地や中学校の草払いについて、地元と協議しながら支援してまいります。※11		
○鉄道跡地や中学校の草払いについて、対応可能な範囲で協力してまいります。※12		
○振興会と連携をとり、消防団員確保に努める。		
○防犯灯を6集落すべて充実させ、安心できるまちづくりを行う。 ・既存の防犯灯をLED化する		
○AEDを人が集まる場所に設置または持っていけるような整備をする。		
○牛根地区公民館を避難場所として更に充実させ、各自治公民館の自主防災活動拠点として使用する。		
○自主防災組織(振興会)の活動として、自治公民館を活用することは可能ですので、具体的な話がまとまれば、総務課安心安全係までご相談ください。※13		

2 牛根はこうありたい（行動計画）

キーワード	こうありたい	だれが	
		地域・団体名・市・県・国	
環境	<p>福祉を充実させたい</p>  <p>▲ 交通安全教室</p>  <p>▲ さわやかあいさつ運動</p>	<p>牛根地区公民館 民生委員</p>	
		市	保健課

いつ、何をやる		市役所関係課の見解
中期(4～6年目)	後期(7～10年目)	
<p>○健康器具を公民館へ設置し、地区住民みんなが使えるようにする。 ・各家庭にある不要な健康器具を持ち寄って活用する</p>		<p>※14 現状において、全国的な医師不足の中、「医師の確保」は大変厳しい状況ですが、鹿児島大学医学部をはじめとする関係各機関へ強く要望しているところです。</p>
<p>○医療施設(応急処置が出来る施設)の設置を要望する。</p>		
<p>○牛根中央クリニック跡地を活用し、地域医療の充実を図る。</p>		
<p>○民生委員が中心となり、各振興会で、高齢者の安否確認や子どもの見守りのために声かけをする。</p>		
<p>○振興会長や民生委員のサポートをする人を育てる・増やす。 ・近隣協力員との連絡体制に努める ・文書配布等、地域を回る際は見守りや声かけに努める</p>		
<p>○牛根中央クリニック跡地を活用した医療施設の設置については、施設取得の条件等の調査検討を進めています。最大の課題は、「医師の確保」です。 ※14</p>		

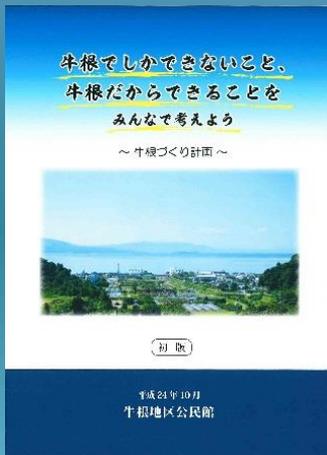
過疎集落等
自立再生
対策事業
(総務省)

牛根づくりの歩み

平成24年度～29年度

地区の大目標

牛根でしかできないこと、
牛根だからできることを
みんなで考えよう



- ・牛根づくり計画の策定(市内3地区目)
- ・第1回ふれあい餅つき大会
- ・そば打ち体験

・第2回牛根ふれあいもちつき大会

・第1回岳野グラウンドゴルフ大会

・ふれあい餅つき大会実施のため、チラシを作成・配布

・そば打ち体験

- ・地区防災マップづくり
- ・交通空白地域解消に向けた調査
- ・災害時に孤立する岳野集落への非常食完備
- ・災害時に孤立する岳野集落の有事電力確保対策(太陽光発電システム及び蓄電池システムの設置工事)
- ・災害時に孤立する岳野集落の避難所防災機能充実(岳野地区自治公民館の改修)
- ・第3回ふれあい餅つき大会の開催
- ・伝統芸能保存DVD制作

- ・第2回岳野グラウンドゴルフ大会
- ・二月祭り
- ・そば打ち体験

H24年度



第1回ふれあい餅つき大会(H24年度)

H25年度



第1回岳野グラウンドゴルフ大会(H25年度)

H26年度



岳野地区自治公民館改修(H26年度)



地区防災マップ



防災訓練



棒踊りDVD制作

・旧牛根中学校トイレ配管改修工事

- ・老人クラブ「なごみの輪」発足
- ・なごみの輪グラウンドゴルフ大会
- ・第3回岳野グラウンドゴルフ大会
- ・学習発表会(牛根小)
- ・ふれあいグラウンドゴルフ大会(牛根小)
- ・第4回ふれあい餅つき大会
- ・門松づくり
- ・そば打ち体験
- ・二月祭り

- ・岳野清掃活動
- ・第4回岳野グラウンドゴルフ大会
- ・なごみの輪グラウンドゴルフ大会
- ・愛校作業
- ・ふれあいグラウンドゴルフ大会(牛根小)
- ・ジャム、芋料理づくり
- ・第5回ふれあい餅つき大会
- ・門松づくり
- ・学習発表会(牛根小)
- ・二川六月灯
- ・二月祭り

・グラウンドゴルフ備品の整備

- ・牛根づくり計画の見直し
- ・第1回牛根地区グラウンドゴルフ大会
- ・なごみの輪グラウンドゴルフ大会
- ・愛校作業
- ・びわ収穫体験(牛根小)
- ・ジャム、芋料理づくり
- ・第6回ふれあい餅つき大会
- ・二川六月灯

見直し計画による牛根づくりへ

H27年度



老人クラブなごみの輪グラウンドゴルフ大会(H27年度)



旧牛根中トイレ改修(H27年度)

H28年度



愛校作業(H28年度)



二月祭り(H28年度)

H29年度



グラウンドゴルフ用品整備(H29年度)



二川六月灯(H29年度)

(2)牛根づくり計画見直し委員会名簿

No.	委員氏名	委員会職名
1	森 正勝	委員長
2	大藪 眞知子	副委員長
3	井上 辰己	議長
4	下拂 淳子	委員
5	出口 勲	委員
6	今村 富義	委員
7	二宮 清春	委員
8	入佐 修二	委員
9	大迫 眞一	委員
10	橋口 雄治	委員
11	中濱 文子	委員
12	藤原 正子	委員
13	津曲 弘子	委員
14	西俣 健一	委員
15	森 和治	委員
16	今村 卓久	委員
17	中濱 盛和	委員
18	西村 隆介	委員
19	中濱 貴博	委員
20	隈崎 譲治	委員
21	濱畑 政浩	委員
22	山下 厚実	委員
23	梶ヶ山 隆世	委員
24	神崎 ルミ子	委員
25	笹元 洋一	委員
26	清水 誠	委員
27	松相 朋弥	委員
28	原口 譲一郎	委員
29	長濱 友	委員
30	岩山 煎子	委員
31	川畑 京子	委員
32	港 耕作	委員
33	港 裕幸	委員

(3) 策定経過

主な取組	日付	会議の名称	参加者数
・計画を見直すことを組織決定	H29/4/25	牛根地区公民館総会	21名
・計画見直し方針の決定、行動計画の振り返り	H29/6/22	第1回牛根づくり計画見直し委員会	30名
・行動計画の振り返り	H29/7/20	第2回見直し委員会	27名
・行動計画の振り返り ・新たに取り組みたいこと、更に充実させたい行動計画について班協議	H29/8/10	第3回見直し委員会	24名
・行動計画案の整理	H29/8/31	第4回見直し委員会	22名
・「だれが」の項目について協議 ・市への協力依頼項目を協議	H29/9/21	第5回見直し委員会	26名
・市関係課長等と見直し行動計画案の要望事項について意見交換	H29/11/2	第6回見直し委員会	32名
・計画書の仕上げ作業 ・見直し計画書原案の承認・決定	H29/11/30	第7回見直し委員会	25名



▲市関係課長との意見交換（第6回見直し委員会）



▲ 牛根地区グラウンドゴルフ（平成 29 年 4 月 15 日）

見直し版あしがき

平成 24 年度に、わたしたちは 10 年間の地域振興計画「牛根づくり計画」を策定し、地域づくりに活用してきました。「牛根でしかできないこと、牛根だからできることをみんなで考えよう」という大目標を掲げ、初版策定後は、「ふれあい餅つき大会」や「岳野グラウンドゴルフ大会」等、牛根地区公民館を中心に子どもから高齢者まで楽しめるイベントを実施いたしました。さらに、多くの地区住民の方々の協力により二月祭りの復活や二川六月灯の規模拡大、牛根小学校の学習発表会など、牛根ならではの取組も行っています。

そして今年度は、計画期間の中後期に向けて、計画見直し作業に取り組みました。これまでの振り返りも行いながら、牛根の現在、未来に向けた見直し版を策定することが出来ました。今回の見直し版では、「交流」「特産物」「人口」「環境」の 4 つのキーワードを掲げましたが、「交流」では「中学校跡地の活用」「牛根小学校との世代間交流」、「特産物」では「びわ等の牛根の特産物を活かし、生産・加工・販売を検討する」等、牛根らしさが出た行動計画になったのではないかと思います。

この計画を実践していく中で、牛根地区がますます住みやすく活気のある地区となることを願うところです。今後とも、地区の皆様のご協力をよろしくお願いします。

最後に、見直し委員会に参加していただいた委員の皆様、市の関係各課に心より感謝申し上げます。

平成 29 年 11 月 30 日

牛根地区公民館長

牛根づくり計画見直し委員会委員長 森 正勝

牛根でしかできないこと、
牛根だからできることを
みんなで考えよう

牛根づくり計画（見直し版）

発行年月 平成 29 年 11 月
編集・発行 牛根地区公民館
牛根づくり計画見直し委員会
〒899-4633
鹿児島県垂水市二川 553 番地 1
☎0994-36-3494
協働制作 垂水市役所関係各課
牛根地区地域担当職員
企画政策課地域振興係

